

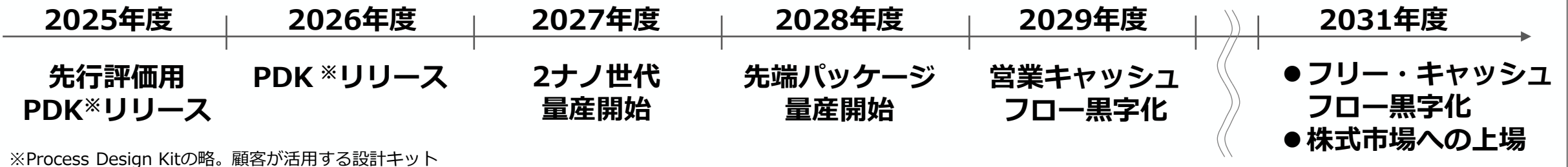
Rapidus株式会社の事業の進捗状況について

2026年4月

商務情報政策局

Rapidus株式会社の事業の進捗状況について（1 / 2）

Rapidus株式会社の事業計画



1. 技術面

①トランジスタ性能改善等

- 2ナノ世代について、ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業（先端半導体製造技術の開発）において、当初計画通り順調に研究開発が進められている。
- 2026年3月、同事業の2025年度における進捗について、外部有識者によるステージゲート審査を実施中。

②PDK等の開発

- 2025年12月、先行評価用PDKをリリース済み。

③人材確保の取組状況

- 2025年12月、正社員数が1,000人を超える等、事業の進捗に応じて必要な人材を着実に確保している。

④技術流出対策

- 情報管理の徹底やサイバー攻撃対策をはじめ、技術流出に対する対策措置を着実に講じている。

Rapidus株式会社の事業の進捗状況について（2 / 2）

2. 事業面

- ①市場環境の変化
 - 最先端半導体に関する国内外の需要や競合他社の製造・開発動向について、昨年選定された事業計画の変更を要するような大きな変化は生じていない。
- ②マーケティング活動の状況
 - 60社以上と協議を進めており、そのうち10社程度とは概算見積りみの段階まで進捗している。
- ③設備投資の状況
 - 2027年度後半の量産開始や、その後の顧客確保の見通しを踏まえた設備増強に向け、昨年選定された事業計画に従って着実に設備投資を実施している。

3. 財務・ガバナンス面

- ①財務状況
 - 貸借対照表、損益計算書、資金繰り等は昨年選定された事業計画の想定通りとなっている。
- ②資金調達
 - 2月下旬に、情報処理推進機構（IPA）が1,000億円を出資するとともに、民間企業32社が当初想定されていた1,300億円を上回る総額1,676億円の出資を実施済み。

4. その他項目

- ①日系企業の最先端半導体の活用状況
 - AIデータセンター向けのファブレス企業やエンドユーザー企業を中心に、将来的な連携・活用に向けたコミュニケーションを実施中。
- ②地元経済への波及
 - これまで千歳市やその周辺地域に、半導体関連企業51社がオフィス等の拠点設立を決定*。
 - 北海道での直接雇用としては、①ラピダスにおいて派遣社員を含めて約950人を雇用**、②建設工事作業員として一日当たり2,225人～2,425人を雇用***。